

令和 7 年度 幼児教育実態調査（C 票 園）

印刷

お知らせページ

令和 7 年度幼児教育実態調査の実施について

文部科学省では、幼児教育に係る施策を実施していく上で必要な実態を把握するため、幼児教育実態調査を隔年で実施してきたところであり、本年はその実施年となりますので、ご多忙中とは存じますが、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

なお本年から「文部科学省WEB調査システム」（EduSurvey）を使用し、クラウド上でご回答いただく形となりました。調査回答マニュアルを併せて送付しておりますので、ご確認の上、ご回答いただけますと幸いです。

文部科学省初等中等教育局幼児教育課

C-1 基本情報（園）

調査全体を通して、特に指示が無い場合は、
令和7年5月1日時点の情報で回答してください。
C-1-②を除き幼稚園は幼稚園型認定こども園を含み、
保育所は保育所型認定こども園を含みます。

C-1 基本情報

C-1-① 貴園の設置主体（1つ選択）

- ア 市町村（特別区を含む、以下、同じ。）
イ 都道府県
ウ 学校法人
エ 公立大学法人
オ 社会福祉法人
カ 宗教法人
キ ウ～カ以外の法人
ク 個人
単一選択

ア 市町村（特別区を含む、以下、同じ。）	イ 都道府県	ウ 学校法人
エ 公立大学法人	オ 社会福祉法人	カ 宗教法人
キ ウ～カ以外の法人	ク 個人	

C-1-② 貴施設の施設類型（1つ選択）

- ア 施設型給付を受ける幼稚園（幼稚園型認定こども園を除く）
イ 施設型給付を受けない幼稚園
ウ 幼稚園型認定こども園
エ 幼保連携型認定こども園
単一選択

ア 施設型給付を受ける幼稚園（幼稚園型認定こども園を除く）
イ 施設型給付を受けない幼稚園
ウ 幼稚園型認定こども園
エ 幼保連携型認定こども園

C-1-③ 園児数（該当がない場合は、0人と回答してください。）

	該当がない場合は0人と回答してください。
ア 満3歳～5歳の園児数	※1
イ アのうち外国籍を持ち、かつ、日本国籍を持たない園児数 ※ 把握している限りの情報に基づいて回答ください。	※1

ウ アのうち障害のある（障害の可能性が考えられる幼児を含む）園児数 ※ 診断や手帳の有無に関わらず、園として認識している園児数を回答ください	※1
--	----

※1 数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

C-1-④ 満3歳児の受け入れの有無

満3歳児を受け入れていますか。

※「受け入れている」は、令和7年5月1日時点で対象園児がいなくても、定員や体制を整えており受け入れることが可能である場合も含む

単一選択

- ☐ ア 在園児として受け入れている
☐ イ 非在園児として預かり保育（一時預かり事業等）において受け入れている
☐ ウ 満3歳児を受け入れていない

C-1-⑤ 満3歳児の受け入れ体制

※C-1-④で、アと回答した園のみ対象

満3歳児の受け入れ体制について選択してください。

単一選択

- ☐ ア 独立して満3歳児の学級を設置して受け入れている
☐ イ 3歳児学級、異年齢学級等の中で受け入れている
 ☐ ウ その他

C-1-⑥ 在園児として満3歳児の受け入れの有無

※C-1-④で、イまたはウと回答した園のみ対象

満3歳児を在園児として受け入れない理由について、該当するものを選択ください。（複数回答可）

複数選択

- ☐ ア 満3歳児の入園数の把握が難しく、受け入れ体制の確保が困難である
☐ イ 満3歳児を受け入れるための施設（部屋等）が不足している
☐ ウ 幼稚園教諭等の人材確保が困難なため、満3歳児を受け入れる教員数が不足している
☐ エ 満3歳児の受け入れの準備に必要な財政的余力がない
☐ オ 新たに満3歳児を受け入れるにあたって必要な手続きが煩雑であり、手続きを行う時間的余力がない
☐ カ その他（具体的に記入）

カ「その他」を具体的に記入してください

テキスト

C-1-⑦ 教諭等1人当たりが担当する幼児数

ア～エのそれぞれについて、教諭等1人が担当する幼児数を回答してください。

※1 「教諭等」とは幼稚園教諭免許状を有する者を指し、主幹教諭、指導教諭、助教諭及び講師を含みます。

※2 教諭等が複数の学年を担当している場合、主に担当している学年で換算してください。

教諭等1人当たりが担当する幼児数(人数)

ア 満3歳児	※1
イ 3歳児	※1
ウ 4歳児	※1
エ 5歳児	※1

※1 数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

C-2 職員情報

C-2-① 教育課程を担当する職員の教員免許状及び保育士資格の取得状況

貴園における幼稚園教諭免許状と保育士資格の併有状況について、以下の表にそれぞれ該当する教職員数をご記入ください。（該当がない場合は0人と回答してください。）

※C-2-①は、幼保連携型認定こども園のご回答は不要です。

※1 「教諭等」かどうかは、契約内容等ではなく勤務実態で判断してください。実態として常時教育活動に従事していれば、助教諭や講師も「教諭等」として計上してください。

※2 園長、副園長・教頭が他の幼稚園・幼保連携型認定こども園の園長等と兼任している場合は、主となる園においてのみ計上してください。

※3 複数種類の免許状を所持している場合、幼稚園教諭としての最も上位の免許状の欄に計上してください。

※4 特例により取得した幼稚園教諭免許状とは、以下の要件を満たすことにより取得した免許状を指します。

（保育士資格）＋（保育士としての勤務経験が3年かつ4,320時間）

＋（大学等における8単位の修得（上記の実務経験に加え、幼保連携型認定こども園での保育教諭等としての2年かつ2,880時間以上の実務経験を有する場合は、6単位））

	(1) 園長	(2) 副園長・教頭	(3) 教諭等
①専修免許状 保持者数	※1	※1	※1
①ー1 ①のうち 保育士資格及 び小学校教諭免 許を保持	※1	※1	※1
①ー2 ①のうち 保育士資格あ り、小学校教諭 免許なし	※1	※1	※1
①ー3 ①のうち 小学校教諭免 許あり、保育士 資格なし	※1	※1	※1
②一種免許状 保持者数	※1	※1	※1
②ー1 ②のうち 保育士資格及 び小学校教諭免 許を保持	※1	※1	※1
②ー2 ②のうち 保育士資格あ り、小学校教諭 免許なし	※1	※1	※1

②ー３ ③のうち 小学校教諭免許あり、保育士 資格なし	※1	※1	※1
②ー４ 保育士 資格を有する者の うち、特例に より上記幼稚園 教諭一種免許状 を取得	※1	※1	※1
③二種免許状 保持者数	※1	※1	※1
③ー１ ③のうち 保育士資格及 び小学校教諭免 許を保持	※1	※1	※1
③ー２ ③のうち 保育士資格あり、小学校教諭 免許なし	※1	※1	※1
③ー３ ③のうち 小学校教諭免許あり、保育士 資格なし	※1	※1	※1
③ー４ 保育士 資格を有する者の うち、特例に より上記幼稚園 教諭二種免許状 を取得	※1	※1	※1
④その他（臨時 免許状）保持者 数	※1	※1	※1
④ー１ ④のうち 保育士資格及 び小学校教諭免 許を保持	※1	※1	※1
④ー２ ④のうち 保育士資格あり、小学校教諭 免許なし	※1	※1	※1
④ー３ ④のうち 小学校教諭免許あり、保育士 資格なし	※1	※1	※1

※1 数値(6桁、小数点以下は0桁まで)

C-2-② 教育課程を担当しない職員の配置状況

貴園における、教育課程を担当しない職員の配置状況について、以下の表にそれぞれ該当する職員数をご記入ください。（配置していない場合は0人と回答してください。）

※1 ⑬「その他」について、学校保健安全法に基づく必置職である学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は記入不要です。

※2 嘱託や派遣等については「(2) 非正規雇用」に計上してください。

	(1) 正規雇用	(2) 非正規雇用
① 教諭等 (C-2-①表の「教諭等」、以下、同じ)	※1	※1
② 事務職員及び用務員	※1	※1
③ 特別支援教育支援員やそれに類する職員	※1	※1
④ 子育て支援員	※1	※1
⑤ 養護教諭	※1	※1
⑥ 栄養教諭及び栄養士	※1	※1
⑦ 調理員	※1	※1
⑧ 言語や文化的背景等の違いにより支援を必要とする幼児又はその保護者を支援する職員	※1	※1
⑨ スクールカウンセラー	※1	※1
⑩ スクールソーシャルワーカー	※1	※1
⑪ 看護師	※1	※1
⑫ バス運転士	※1	※1
⑬ その他 (具体的に記入)	※1	※1
合計		

※1 数値(6桁、小数点以下は0桁まで)

⑬「その他」を具体的に記入してください
テキスト

C-2-③ 保育補助者の配置状況

いわゆる保育補助者 (※1) について、配置人数を回答ください。

※1 教諭等として配置されていないが、教諭等の補助を行う者

	(人数)
正規雇用	※1
非正規雇用	※1

※1 数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

C-2-④ 幼稚園教諭の人材確保に関する情報 (令和6年度の実績で回答してください)

A 教諭等の採用者数を記入してください。(該当がない場合は0人と回答してください。)

	人数 ※ 新卒・中途の別を問いません。
正規雇用	※1
非正規雇用	※1
合計	

※1 数値(6桁、小数点以下は0桁まで)

B Aの中に中途採用（いわゆる第二新卒を含む）の幼稚園教諭・保育教諭がいる場合、直前の職種を記入してください。

※ 把握できる範囲での回答としてください。本人からの回答が得られない場合等には「それ以外又は不明」に計上してください。

	人数（該当がない場合は0人と回答してください。）
ア 他の幼稚園・幼保連携型認定こども園	※1
イ ア以外の保育施設（保育所や小規模保育事業所など）	※1
ウ ア、イ以外で幼児に直接関わる仕事（幼児教室等）	※1
エ 小学校又は義務教育学校	※1
オ 幼児に直接関わらない職種（エを除く）	※1
カ 家庭における子育て・介護等	※1
キ それ以外又は不明	※1
合計	

※1 数値(6桁、小数点以下は0桁まで)

C 教諭の離職者数を記入してください。（該当がない場合は0人と回答してください。）

※1 新卒・中途の別を問いません。

※2 実態として常時教育活動に従事していれば、助教諭や講師も「教諭」として計上してください。

	人数（該当がない場合は0人と回答してください。）
正規雇用	※1
非正規雇用	※1
合計	

※1 数値(6桁、小数点以下は0桁まで)

C-2-⑤ 職員の勤務状況（超過勤務時間）

※この設問は私立幼稚園のみお答えください。（公立幼稚園・公私立幼保連携型認定こども園については回答不要です）

令和7年度5月における、教員等（※）の超過勤務時間について、次の①～④の選択肢に当てはまる教員等の人数をご回答ください。それぞれ実数を記入してください。

※対象職種は、フルタイムの常勤教員（園長、副園長・教頭、主幹教諭・指導教諭、教諭）とし、事務職員や支援スタッフ、養護教諭、栄養教諭、休職者、産休・育休取得者等は除く。

	人数（人）
① 月20時間以内	※1
② 月20時間超、45時間以下	※1
③ 月45時間超、80時間以下	※1
④ 月80時間超	※1
合計	

※1 数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

C-3 研修（園）

C-3 研修

（令和6年度の実績で回答してください。）

C-3-① 研修の状況について、当てはまるものを全て選択してください。

※1 「初任者研修」…教育公務員特例法附則第5条第1項に規定する研修

※2 「中堅教諭等資質向上研修」…教育公務員特例法附則第6条第1項に規定する研修

複数選択

ア 園が自主的に研修を実施した

イ 都道府県又は政令指定都市が行う研修（初任者研修又は中堅教諭等資質向上研修を含む）に職員が参加した

ウ 幼稚園・認定こども園団体が主催する研修に参加した

エ ア～ウ以外の研修（他園の保育の見学等も含む）に職員が参加した

オ 研修に参加した職員はいなかった

C-3-② 園内研修の頻度

C-3-①において、ア「園が自主的に研修を実施した」を選択した場合、実施頻度として当てはまるものを、教育活動期間中と長期休業期間中、それぞれ1つ選んでください。

ア 週に2回以上

イ 週に1回程度

ウ 月に1～2回程度

エ 年に1～数回程度

a 教育活動期間中

単一選択

ア 週に2回以上

イ 週に1回程度

ウ 月に1～2回程度

エ 年に1～数回程度

b 長期休業期間中

単一選択

ア 週に2回以上

イ 週に1回程度

ウ 月に1～2回程度

エ 年に1～数回程度

C-3-③ 園長又は理事長の研修参加

園長又は理事長が参加した外部研修の内容について、以下のア～カから選択してください。（複数回答可）

複数選択

ア 経営管理、マネジメント

イ 幼児教育を取り巻く状況等について（幼児教育の意義や役割、国の関連施策や社会動向など）

ウ 幼稚園教育要領等

エ 特別支援教育等の特定の教育課題

オ その他

カ 外部で実施される研修には参加していない

オ「その他」を選択された場合、具体的に記入してください。

テキスト

C-4 小学校段階との連携状況（園）

C-4 小学校段階との連携状況

（令和6年度の実績で回答してください。）

C-4-① 小学校（義務教育学校を含む、以下、同じ）との接続の状況

小学校教育との接続状況を示すものとして最も適当なものを、以下の選択肢から1つ選択してください。

- ア ステップ0 連携の予定・計画がまだない。
- イ ステップ1 連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
- ウ ステップ2 年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。
- エ ステップ3 授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われている。
- オ ステップ4 接続を見通して編成・実施された教育課程について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

※ 各ステップの出典：幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（平成22年11月11日 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議）

選択リスト

- ア ステップ0 イ ステップ1 ウ ステップ2 エ ステップ3 オ ステップ4

C-4-② 小学校との連携のための取組内容

令和6年度の間に実施した小学校との連携のための取組を全て選択してください。

（※）スタートカリキュラム＝小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

複数選択

- ア 小学校との連携・接続の担当に関する業務分掌を明確にすること
- イ 園児と小学校の児童との交流活動
- ウ 幼稚園教諭・保育教諭と小学校の教職員との合同研修会や研究会の開催
- エ 幼稚園教諭・保育教諭による小学校の授業参観
- オ 小学校の教職員による園の保育参観
- カ 小学校教育との接続を意識した教育課程の編成や指導計画の作成
- キ 小学校と協同して、接続を意識したカリキュラムを編成・実施
- ク 小学校での生活を見通した5歳児の活動に関して小学校教員がは助言・協力
- ケ スタートカリキュラム（※）の作成等に関して幼稚園教諭が助言・協力
- コ その他（具体的に記入） サ 小学校との連携の取組を実施していない

コ「その他」を選択した場合、具体的に記入してください。

テキスト

C-4-③ 小学校接続加算の加算取得状況

小学校接続加算の加算取得状況として、該当するものを選択してください。

加算の要件

- i 小学校との連携・接続に関する業務分掌を明確にすること
- ii 授業・行事・研究会・研修等の小学校との子ども及び教職員の交流活動を実施している
- iii 小学校と協働して、5歳児から小学校1年生の2年間（2年以上）のカリキュラムを編成・実施していること（小学校との継続的な協議会の開催等により具体的な編成に着手していると認められる場合を含む）

複数選択

- ☐ ア 要件 i と ii のいずれも満たしている（要件 iii は満たしていない）
- ☐ イ 要件 i ～ iii をすべて満たしている ☐ ウ どの要件も満たしていない
- ☐ エ 本加算の対象ではない（新制度に移行していない私立幼稚園等）

C-4-④ 小学校接続加算の加算取得に向けた課題

（本加算は施設型給付を受ける施設のみに適用されるため、C-4-③で、アまたはイまたはウと回答した園のみ回答）

小学校接続加算の加算取得に向けた課題として捉えているものについて、該当するものを選択してください。

単一選択

- ☐ ア 幼稚園にとって時間的・人的負担が大きく協議への参画が消極的である
- ☐ イ 小学校にとって時間的・人的負担が大きく協議への参画が消極的である
- ☐ ウ 市町村教育委員会等の行政による、小学校接続に関する支援が消極的である ☐ エ その他

C-5 施設設備（ICT等）

C-5-① ICTの整備

A 教員用のタブレット又はP Cの配備状況について当てはまるものを1つ選択してください。（リース・自治体からの貸与を含む）

単一選択

- ☐ ア 1人1台程度 ☐ イ 複数台を共有 ☐ ウ 1台を共有
☐ エ 園長又は特定の教員のみが利用できるタブレット又はP Cのみを配備 ☐ オ ゼロ

B 幼児用のタブレット又はP Cの配備状況について当てはまるものを1つ選択してください。（リース・自治体からの貸与を含む）

単一選択

- ☐ ア 1人1台程度 ☐ イ 複数台を共有 ☐ ウ 1台を共有 ☐ エ ゼロ

C 園において校務支援システムを利用していますか。

単一選択

- ☐ ア 利用している ☐ イ 利用していない

D 設問Cにおいてアを選んだ場合、利用している校務支援システムに該当するものを選択してください。

※以下に記載のシステムの利用を推奨するものではありません。

複数選択

- ☐ ア コドモン（CoDMON） ☐ イ ルクミー ☐ ウ キッズビュー
☐ エ その他（具体的に記入）

エ（その他）を選択した場合、具体的に記載してください。

テキスト

E 設問Cにおいてイを選んだ場合、利用していない理由について、該当するものを全て選択してください。

複数選択

- ☐ ア ランニングコストがかかる
☐ イ ノウハウのある担当職員又は外部人材の確保が難しい
☐ ウ 保護者や教職員等の同意を得るのが難しい ☐ エ その他（具体駅に記入）

エ（その他）を選択した場合、具体的に記載してください。

テキスト

C-5-② ICTの使用状況

以下、a～fの活動それぞれにおけるＩＣＴの使用状況について、ア又はイの選択肢から１つ選択してください。

※ 職員の個人端末等で実施するものを含む。

ア 使っている

イ 使っていない

	ア又はイの選択肢から１つ
a 教育活動で幼児が使用	※1
b 外部との打合せ・研修	※1
c 保護者との連絡・情報提供（園の活動の様子の配信、教材等の配信・配布、子育て相談等を含む	※1
d 園の運営等に関する内部業務（指導要録の記入や指導計画の作成など）	※1
e 園児の登園及び降園の管理	※1
f キャッシュレス決済	※1
g その他（具体的に記入）	※1

※1 選択リスト

g「その他」を選択した場合、具体的に記載してください。

テキスト

C-5-③ ＩＣＴの利用のための課題

ＩＣＴの利用にあたっての課題を全て選択してください。

複数選択

- ☐ ア タブレット又はＰＣの配備
- ☐ イ 通信環境などインフラの改善
- ☐ ウ ノウハウのある担当職員の確保又は外部人材との連携
- ☐ エ 保護者の同意を得るための十分なコミュニケーション
- ☐ オ 教職員の同意を得るための十分なコミュニケーション
- ☐ カ 個人情報、サイバーセキュリティ、破損・盗難対策など安全面の対応
- ☐ キ その他

キ（その他）を選択した場合、具体的に記載してください。

テキスト

C-6 在園児の預かり保育（園）

C-6 在園児の預かり保育

C-6においては、幼稚園教育要領第3章1の預かり保育又は幼保連携型認定こども園教育・保育要領第4章第2の5の一時預かり事業などの活動（以下単に「預かり保育」という。）のみを対象とし、例えば、企業等に保育室等を開放して行われる英語教室等は除く。

C-6-① 預かり保育の実施の有無

預かり保育の実施状況について、最もよく当てはまるものを1つ選択してください。

単一選択

- ☐ ア 定期的に実施 ☐ イ 保護者からの要望に応じた臨時の預かり保育のみを実施
☐ ウ 実施していない

★★ ウの「実施していない」を選んだ場合、C-6-②～⑨は回答不要です ★★

C-6-② 長期休業期間中の平日の実施の有無

長期休業期間中の平日の預かり保育の実施状況について、ア、イのうち、当てはまるものを1つ選択してください。

- ☐ ア 実施している
☐ イ 実施していない

	アまたはイにどちらかを選択
a 夏季休業期間	※1
b 冬季休業期間	※1
c 春季休業期間	※1

※1 選択リスト ☐ ア 実施している ☐ イ 実施していない

C-6-③ 料金徴収（月謝の場合は20日で割り算）

A 学期中の標準的な平日において、8時から18時まで教育課程に基づく教育及び預かり保育の提供を受けた場合の1日（1回）あたりの預かり保育料を記入してください。

※上述の時間帯より短いものしか提供していない場合は空欄にしてください

単位：円

数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

B Aで空欄とした場合、最も利用される形態1回の預かり保育料を記入してください。

単位：円

数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

C-6-④ 担当職員の免許の保有等の状況

預かり保育担当職員（補助者としてのみ活動する者を除き、教育課程時間の活動を兼務している者を含む）について、以下の表に占める幼稚園教諭免許等の取得の状況ごとに、配置人数を記入してください。（配置していない場合は0人と回答してください。）

	人数（配置していない場合は0人と回答してください。）
ア 幼稚園教諭免許又は保育士資格を保持	※1
ウ 上記の免許・資格を持っておらず、以下のいずれかに該当 （小学校教諭又は養護教諭の免許を保持、幼稚園教諭免許又は保育士資格の養成課程に在籍、子育て支援員、家庭的保育者研修の基礎研修を修了）	※1
エ 上記のどれにも該当しない	※1

※1 数値(6桁、小数点以下は0桁まで)

C-6-⑤ 教育課程時間の活動との併任職員

預かり保育担当職員のうち、教育課程時間の活動を担当する職員の数を記入してください。（該当がない場合は0人と回答してください。）

※ 預かり保育において補助者としてのみ活動する者を除く。

	人数
ア 教育課程の活動を担当する職員	※1
イ 教育課程の活動を担当しない職員	※1

※1 数値(18桁、小数点以下は0桁まで)

C-6-⑥ 設問 C-6-①でアを選択した場合、一週間の平日のうち、預かり保育を実施する標準的な日数（1～5日）を記入してください。

単位：日

数値(18桁、小数点以下は2桁まで)

C-6-⑦ 預かり保育を提供した幼児数を記入してください。（令和7年6月の実績）

単位：人（のべ）

数値(18桁、小数点以下は2桁まで)

C-6-⑧ 土曜日の預かり保育

土曜日の預かり保育の実施状況について、最もよく当てはまるものを1つ選択してください。

単一選択

☐ ア 定期的に実施	☐ イ 保護者からの要望に応じた臨時の預かり保育のみを実施
☐ ウ 実施していない	

C-6-⑨ 預かり保育の実施時間帯（令和7年6月の実績）

平日の標準的な預かり保育の終了時間を記入してください。

24時制で下記のように記載ください

例：18時半なら1830

数値(18桁、小数点以下は2桁まで)

C-7 子育ての支援活動（学校行事として行うものを除く）（園）

C-7 子育ての支援活動（学校行事として行うものを除く）

C-7-① 満3歳未満児を預かる保育活動の実施状況

A 満3歳未満児を預かる保育活動の実施状況について、最もよく当てはまるものを1つ選択してください。

- ※ 1 入園前に一時的に行う、いわゆる「ならし保育」の幼児は除く。
- ※ 2 満3歳の在籍園児は除く。
- ※ 3 親子登園など、保護者とともに過ごすものは除く。
- ※ 4 幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園における3号児は除く。
- ※ 5 時間の長短は問わない。

単一選択

- ☐ ア 定期的に実施 ☐ イ 保護者からの要望に応じた臨時の預かり保育のみを実施
☐ ウ 実施していない

B Aでア及びイを選択している場合、満3歳未満児を預かる保育活動において、何歳児を受け入れているか最もよく当てはまるものを1つ選択してください。

※現時点で預かっている幼児の年齢ではなく、園として受け入れることのできる幼児の年齢を選択してください。

単一選択

- ☐ ア 0歳児のみ ☐ イ 1歳児のみ ☐ ウ 2歳児のみ ☐ エ 0～1歳児 ☐ オ 0～2歳児
☐ カ 1～2歳児 ☐ キ その他

C 設問Aでアを選択している場合、一週間の平日のうち、満3歳未満児を預かる保育活動を実施する標準的な日数（1～5日）を記入してください。

単位：日

数値(18桁、小数点以下は2桁まで)

C-7-② 子育ての支援活動の実施状況

以下、a～iの子育ての支援活動の実施状況について、最もよく当てはまるものを1つ選択してください。

※ 学校行事として行うものを除く。

- ☐ ア 週1回以上
☐ イ 月1～2回
☐ ウ 年に数回
☐ エ 実施していない

※ 複数種類の交流・相談・情報提供等活動を実施している場合、全てを合算した実施頻度。

	ア～エのいずれかを選択
a 対象を保護者全般とした交流、子育て相談、情報提供等の子育て支援	※1
b 園庭開放など、対象を保護者に限定しない地域交流による子育て支援	※1
c 父親の育児参加に重点を置いた活動（母親を対象としたものを含む）	※1
d 言語や文化的背景等の違いにより支援を要する家庭を特に対象とした活動	※1
e 障害のある幼児等の保護者を特に対象とした活動	※1
f 養育に関する支援の提供が考えられる保護者を特に対象とした活動	※1
g ならし保育、親子登園などによる満3歳未満児の子育ての支援 ※C-7-①で回答した満3歳未満児を預かる保育活動を除く	※1
h 保護者のニーズへの対応のために行う非在園児（年齢を問わない）の臨時の預かり ※C-7-①で回答した満3歳未満児を預かる保育活動を除く	※1
i その他（具体的に記入）	※1

※1 単一選択 ☐ ア 週1回以上 ☐ イ 月1～2回 ☐ ウ 年に数回 ☐ エ 実施していない

i「その他」を選択した場合、具体的に記載してください。

テキスト

C-8 障害のある幼児等とその保護者への支援（園）

C-8 障害のある幼児等とその保護者への支援

障害のある幼児等（障害の可能性が考えられる幼児を含む）への指導や保護者との連携に当たって、実施している支援について、以下のうち当てはまるものを全て選んでください。

（クもしくはケを選択した場合、ア～キは選ばないでください。）

複数選択

ア 幼稚園の教員免許を有する者の配置

イ 特別支援教育支援員など、障害のある幼児等への支援について専門性を有する者の配置（財政支援を含む）

ウ 巡回相談等、障害への気づきや障害のある幼児等への関わり方（個別の指導計画を含む）に関する助言や研修

エ 家庭、地域及び医療や福祉、保健等の関係機関との連携（個別の教育支援計画の作成を含む）への助言や研修

オ 保護者との関わり方に関する助言や研修

カ 小学校に対して、園での幼児の様子、具体的な支援方法や内容等の引継ぎ

キ ア～カ以外の取組

ク 特に取り組みを行っていない

ケ 過去に障害のある幼児等が在園したことがない

C-9 言語や文化的背景等の違いにより支援を要する幼児とその保護者への支援（…

C-9 言語や文化的背景等の違いにより支援を要する幼児 とその保護者への支援

C-9-① 言語や文化的背景等の違いにより支援を要する幼児（以下、「当該幼児」とする）への指導に当たって、実施している支援について、以下のうち当てはまるものを全て選んでください。

（キもしくはクを選択した場合、ア～カは選ばないでください。）

複数選択

- ア 保育中に支援を行う教員又は教員を補助する者の配置（財政支援を含む）
- イ 当該幼児との円滑な意思伝達のための通訳
- ウ 当該幼児も楽しめる遊びの工夫（絵本や歌等）への助言
- エ 幼児の母国の文化、習慣、遊び等に関する研修
- オ 小学校に対して、園での幼児の様子、具体的な支援方法や内容等の引継ぎ
- カ ア～オ以外の取組
- キ 特に取り組みは行っていない
- ク 過去に当該幼児が在園したことがない

C-9-② 言語や文化的背景等の違いに支援を要する幼児（以下、「当該幼児」とする）の保護者との連携に当たって、実施している支援について、以下のうち当てはまるものを全て選んでください。

（キもしくはクを選択した場合、ア～カは選ばないでください。）

複数選択

- ア 保護者会等の園行事や園だより等における翻訳（文書）
- イ 保護者会等の園行事や園だより等における通訳（音声）
- ウ 保護者に日本の幼稚園の生活や教育に関して分かりやすく説明できる資料等
- エ 母国の文化、習慣、宗教等に関する研修
- オ 保護者から日本での生活等に関して相談を受けた場合の連携窓口（例：母語で受診可能な病院を知りたい等、生活に関して相談を受け場合、幼稚園が保護者に対して紹介できるワンストップの窓口）
- カ ア～オ以外
- キ 特に取り組みは行っていない
- ク 過去に当該幼児が在園したことがない

C-10 家庭の実情に応じた支援（園）

C-10 家庭の実情に応じた支援

経済的な支援や児童虐待防止に向けた支援等（以下「経済的な支援等」という。）が必要と考えられる家庭の支援に当たって、実施している支援について、以下のうち当てはまるものを全て選んでください。

複数選択

ア カウンセラーの巡回相談等、保護者の悩みなどに気づき、相談に応じることができる体制整備

イ ソーシャルワーカーの巡回相談等、幼児とその保護者が置かれている生活環境に関して福祉的な視点から相談に応じることができる体制

ウ 経済的な支援等が必要と考えられる家庭の幼児との関わり方や家庭との連携に関する教師への助言や研修

エ 福祉部局をはじめとする関連機関との連携

オ その他の取組

C-11 保有している絵本等の冊数や触れる機会

C-11 保有している絵本等 の冊数、絵本や物語に触れる機会

C-11-① 保有している絵本等の冊数

単一選択

- | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|---------------|
| ア 50 冊未満 | イ 50-100 冊未満 | ウ 100-300 冊未満 | エ 300-500 冊未満 |
| オ 500-1000 冊未満 | カ 1000-1500 冊未満 | キ 1500-2000 冊未満 | ク 2000 冊以上 |

C-11-② 絵本や物語に触れる機会が多くなるようにするための工夫

当てはまるものを全て選択してください。

複数選択

- | |
|---|
| ア 興味のある活動に関する絵本を準備している |
| イ 絵本や物語を題材にした劇や遊びをしている |
| ウ 絵本等の読み聞かせ等を通して小中学生と交流している |
| エ 民間団体や地域ボランティアによるおはなし会や読み聞かせ会をしている |
| オ 地域の図書館や小学校の学校図書館を園児と訪問している |
| カ 読み聞かせの楽しさや読書の重要性について、保護者の理解が促進される機会を設けている（講演会等） |
| キ 教師が絵本を借りて幼児に読み聞かせをするなど、園の近隣地域にある図書館等を活用している |

C-12 給食の実施状況（園）

C-12 給食の実施状況

C-12-① 給食（※）の実施状況

※以下、公立幼稚園の給食についてのみお聞きします

A 幼稚園等において給食を実施していますか

単一選択

☐ ア 実施している

☐ イ 希望者のみ実施している

☐ ウ 実施していない

B Aでア及びイを回答した場合、実施している給食を選択してください。

単一選択

☐ ア 完全給食

☐ イ 補食給食

☐ ウ ミルク給食

☐ エ その他

C Aでア及びイを回答した場合、実施している給食の頻度を選択してください。

単一選択

☐ ア 週5日

☐ イ 週4日

☐ ウ 週3日

☐ エ 週2日

☐ オ 週1日

☐ カ その他

C-13 学校評価の実施状況

C-13 学校評価の実施状況

C-13-① 自己評価に関して

※「自己評価」、「学校関係者評価」、「第三者評価」は、幼稚園における学校評価ガイドラインに基づくもの。

自己評価について、令和6年度の実施状況を回答してください。

単一選択

☐ ア 実施した

☐ イ 実施していない

C-13-② 学校関係者評価に関して

学校関係者評価について、令和6年度の実施状況を回答してください。

単一選択

☐ ア 実施した

☐ イ 実施していない

C-13-③ 第三者評価に関して

第三者評価について、令和6年度の実施状況を回答してください。

単一選択

☐ ア 実施した

☐ イ 実施していない

お礼ページ

ご協力ありがとうございました。深く御礼申し上げます。